

都市整備部

- 都市整備課
- 公園緑地課
- 飯山満土地区画整備事務所

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01008	自転車等駐輪場整備費		担当課	都市整備課 作成責任者 宮路 享
施策体系	005-301-002	自転車利用環境の整備		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	<p>(事業内容) 放置自転車をなくし、駅周辺の環境改善を図るために駐輪場を整備するとともに、耐震性が不足している駐輪場の耐震補強工事を行っている。放置自転車対策を効果的・効率的に進めるために、平成25から26年度で策定を進めている自転車等の駐車対策の総合計画に基づいて、市内各鉄道駅における駐輪場整備その他の施策を推進する。</p> <p>(目標・計画) 耐震補強工事は、平成28年度までに完了する。 駐輪場整備は総合計画に基づき整備を実施する。</p>				
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律・自転車等の放置防止に関する条例				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		261,588	72,222	29,927	56,720
人 工	常勤職員	1.0	1.0	1.0	0.6
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		8,000	8,000	8,000	4,800
総コスト(A+B)		269,588	80,222	37,927	61,520
指 標	各駅駐輪場の整備数(箇所)	目標値	2.0	2.0	0.0
		実績値	2.0	2.0	0.0
	各駅駐輪場の耐震補強及び改修数(箇所)	目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		・高根公団駅駐輪場新築工事 ・原木中山駅第3自転車等駐輪場新築工事	・北習志野駅第2自転車等駐輪場耐震設計委託 ・船橋駅高架下自転車等駐輪場整備工事 ・大神宮下駅自転車等駐輪場工事	・総合計画策定業務委託 ・船橋駅第1自転車等駐輪場耐震補強設計委託 その他	・総合計画策定業務委託 ・北習志野駅第2自転車等駐輪場耐震補強工事 ・西船橋駅第7自転車等駐輪場耐震補強設計委託 ・船橋駅第1自転車等駐輪場改修工事

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価コメント	<p>駐輪場の耐震工事は、平成28年度までに完了する予定で進んでいる。 駅周辺の特性や駐輪需要などを考慮した各駅の駐輪場整備方針に基づき、計画的に駐輪場の整備を進めていくことが重要であると考えます。</p>
----------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01010	自転車等撤去移送費	担当課	都市整備課 作成責任者 宮路 享
施策体系	005-301-002	自転車利用環境の整備	会計種別	一般会計
事業類型	審査・許認可・指導・規制・措置・検査			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 放置自転車等を減らし、各駅等周辺の良い生活環境を確保するため、放置禁止区域等に放置された自転車等の撤去移送を行う。 (目標・計画) 放置自転車等が減少するよう、有効に撤去移送を行う。 (指標)(活動指標)前年度以下の放置自転車等の撤去台数 (成果指標)前年度以下の自転車等の放置台数(年4回調査の合計) (指標の設定理由) 放置自転車等の撤去台数と放置台数を把握することにより、撤去移送業務が有効に行われていたかを把握するため。			
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車等の放置防止に関する条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		16,629	15,555	19,200	26,531	
人工	常勤職員	0.0	4.0	4.0	4.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	32,000	32,000	32,000	
総コスト(A+B)		16,629	47,555	51,200	58,531	
指標	放置禁止区域からの年間撤去台数(台)	目標値	0.0	0.0	12,794.0	11,547.0
		実績値	0.0	12,794.0	11,547.0	—
	放置禁止区域内の自転車等の放置台数(年4回調査の合計)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	放置禁止区域からの年間撤去台数(台)	目標値	0.0	0.0	9,002.0	7,514.0
		実績値	0.0	9,002.0	7,514.0	—
放置禁止区域内の自転車等の放置台数(年4回調査の合計)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画			・撤去移送業務(移送通告書による告知、車両の運搬等) ・放置禁止区域(市内26駅1停留所周辺)	・撤去移送業務(移送通告書による告知、車両の運搬等) ・放置禁止区域(市内26駅1停留所周辺)	・撤去移送業務(移送通告書による告知、車両の運搬等) ・放置禁止区域(市内26駅1停留所周辺)	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価コメント	平成25年度の自転車等の撤去台数は11,547台となっている。過去3年間は、平成22年度が14,939台、平成23年度が13,491台、平成24年度が12,794台であり年々撤去移送台数は減少している。 平成25年度の自転車等の放置台数(年4回調査の合計)は7,514台となっている。過去3年間の実績は、平成22年度が13,837台、平成23年度が11,696台、平成24年度が9,002台であり年々放置台数は減少している。 当該業務を含む一連の施策の効果により、一定の成果を得ていると考える。
----------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01011	自転車等街頭指導費	担当課	都市整備課 作成責任者 宮路 享
施策体系	005-301-002	自転車利用環境の整備	会計種別	一般会計
事業類型	審査・許認可・指導・規制・措置・検査			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 放置自転車等を減らし、各駅等周辺の良い生活環境を確保する目的で、自転車等利用者に対し、放置禁止区域等において街頭指導業務を行う。 (目標・計画) 放置自転車等が減少するよう、街頭指導員を配置し放置防止の啓発を行う。 (指標)(活動指標)前年度以下の放置自転車等の撤去台数 (成果指標)前年度以下の自転車等の放置台数(年4回調査の合計) (指標の設定理由) 放置自転車等の撤去台数と放置台数を把握することにより、街頭指導業務が効果的に行われていたかを把握するため。			
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車等の放置防止に関する条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		53,244	52,071	67,812	69,004	
人 工	常勤職員	0.0	2.0	2.0	2.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	16,000	16,000	16,000	
総コスト(A+B)		53,244	68,071	83,812	85,004	
指 標	放置禁止区域からの年間撤去台数 (台)	目標値	0.0	0.0	12,794.0	11,547.0
		実績値	0.0	12,794.0	11,547.0	—
	放置禁止区域内の自転車等の放置 台数(年4回調査の合計)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	放置禁止区域からの年間撤去台数 (台)	目標値	0.0	0.0	9,002.0	7,514.0
		実績値	0.0	9,002.0	7,514.0	—
放置禁止区域内の自転車等の放置 台数(年4回調査の合計)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画			・放置自転車等を防ぐ 啓発を行う街頭指導業 務 [参考] 放置禁止区域(市内26 駅1停留所周辺)	・放置自転車等を防ぐ 啓発を行う街頭指導業 務 [参考] 放置禁止区域(市内26 駅1停留所周辺)	・放置自転車等を防ぐ 啓発を行う街頭指導業 務 [参考] 放置禁止区域(市内26 駅1停留所周辺)	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	平成25年度の自転車等の撤去台数は11,547台となっている。過去3年間は、平成22年度が14,939台、平成23年度が13,491台、平成24年度が12,794台であり年々撤去移送台数は減少している。 平成25年度の自転車等の放置台数(年4回調査の合計)は7,514台となっている。過去3年間の実績は、平成22年度が13,837台、平成23年度が11,696台、平成24年度が9,002台であり年々放置台数は減少している。 当該業務を含む一連の施策の効果により、一定の成果を得ていると考える。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01012	自転車等放置禁止区域標識整備費	担当課	都市整備課 作成責任者 宮路 享
施策体系	005-301-002	自転車利用環境の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 自転車等の放置台数を減らしていくため、自転車等利用者に対し、駅等周辺が放置禁止区域である旨の周知を行う目的で、啓発看板等の設置・書換を適宜行う。 (目標・計画) 必要に応じて、適切な数の啓発看板等の設置・書換を行う。 (指標) 放置禁止区域内の自転車等の放置台数(年4回調査の合計) (指標の設定理由) 自転車等の放置台数を把握することにより、放置禁止区域標識整備業務が有効に行われていたかを把握するため。			
根拠法令等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、自転車等の放置防止に関する条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		1,127	1,176	1,093	1,016	
人 工	常勤職員	0.0	2.0	2.0	2.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	16,000	16,000	16,000	
総コスト(A+B)		1,127	17,176	17,093	17,016	
指 標		目標値	0.0	0.0	0.0	
		実績値	0.0	0.0	—	
	放置禁止区域内の自転車等の放置台数(年4回の合計)	目標値	0.0	0.0	9,002.0	
		実績値	0.0	9,002.0	7,514.0	
		目標値	0.0	0.0	0.0	
		実績値	0.0	0.0	—	
	事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画			・標識設置書換業務(啓発看板の設置・書換、禁止区域路面表示の設置、移送通知板の作成) ・放置禁止区域(市内26駅1停留所周辺)	・標識設置書換業務(啓発看板の設置・書換、禁止区域路面表示の設置、移送通知板の作成) ・放置禁止区域(市内26駅1停留所周辺)	・標識設置書換業務(啓発看板の設置・書換、禁止区域路面表示の設置、移送通知板の作成) ・放置禁止区域(市内26駅1停留所周辺)

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価コメント	平成25年度の自転車等の撤去台数は11,547台となっている。過去3年間は、平成22年度が14,939台、平成23年度が13,491台、平成24年度が12,794台であり年々撤去移送台数は減少している。 平成25年度の自転車等の放置台数(年4回調査の合計)は7,514台となっている。過去3年間の実績は、平成22年度が13,837台、平成23年度が11,696台、平成24年度が9,002台であり年々放置台数は減少している。 当該業務を含む一連の施策の効果により、一定の成果を得ていると考える。
----------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01016	小室地区土地区画整理費	担当課	都市整備課 作成責任者 宮路 享
施策体系	005-401-002	良好な市街地の形成	会計種別	一般会計
事業類型	事業者・団体への助成・貸付			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	(事業内容) 土地区画整理事業を施行する組合に対し助成及び指導を行うことにより、事業を円滑に促進させ、公共施設の整備・健全な市街地の形成を図る。 (目標・計画) 平成26年度事業を完了するため、指標は設定していません。			
根拠法令等	土地区画整理法・船橋市土地区画整理事業助成規則			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		11,340	43,900	37,340	51,562
人工	常勤職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		2,400	2,400	2,400	2,400
総コスト(A+B)		13,740	46,300	39,740	53,962
指標	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		小室土地区画整理事業 助成金 ・埋蔵文化財の発掘調査費 【目標】 文化財調査 【実績】 文化財調査	小室土地区画整理事業 助成金 ・埋蔵文化財の発掘調査費(遺物整理) ・工作物移転補償費 ・調整池工事費 【目標】 調整池工事等 【実績】 調整池工事等	小室土地区画整理事業 助成金 ・埋蔵文化財の発掘調査費(遺物整理・刊行物発行) ・一般幹線道路工事費 ・公園施設費 【目標】 道路工事等	小室土地区画整理事業 助成金 ・一般幹線用地費 ・公園用地費 ・調整池用地費 【目標】 換地処分

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	完了
-----------	----

1次評価コメント	船橋市小室土地区画整理事業は、平成20年9月組合設立を認可し平成26年3月工事完了、4月には地区全体の使用収益を開始した。今後は、換地処分し清算業務を行った後、組合は解散する。 助成事業は、平成26年度で完了する。
----------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01026	公園施設管理費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 公園・緑地等を安全、安心で快適な状態に保つために、日常管理、施設管理、植物管理等必要な維持管理を行う。</p> <p>(目標・計画) 公園等を、常に安全、安心に利用できるよう維持管理を行うことを目標に事業を実施する。目標達成のためには、施設点検専門業者、及び職員等による公園施設の点検を強化するとともに、施設の現状の状態を把握することが最も重要であることから、清掃を委託している業者、町会・自治会等幅広いところから施設の危険箇所等の情報を求め、早急な対応を行う。</p>			
根拠法令等	都市公園法、都市公園法施行令、船橋市都市公園条例、船橋市都市公園条例規則			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		251,611	281,653	319,857	97,529	
人 工	常勤職員	1.7	1.7	1.8	0.6	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		13,600	13,600	14,400	4,800	
総コスト(A+B)		265,211	295,253	334,257	102,329	
指 標	管理箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	652.0	819.0
		実績値	622.0	640.0	652.0	—
	町会等清掃委託件数(件)	目標値	0.0	0.0	220.0	346.0
		実績値	216.0	217.0	223.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		<ul style="list-style-type: none"> 公園清掃、除草、便所清掃、樹木の剪定、害虫駆除、施設点検等の委託 公園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 下水道使用料 土地借上料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 公園清掃、除草、便所清掃、樹木の剪定、害虫駆除、施設点検等の委託 公園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 下水道使用料 土地借上料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 公園清掃、除草、便所清掃、樹木の剪定、害虫駆除、施設点検等の委託 公園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 下水道使用料 土地借上料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 公園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 下水道使用料 土地借上料等 清掃等の委託は、公園施設管理費(政策経費)に計上 	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	<p>年々管理する公園数が増加していることから、公園管理水準を維持するよう財源を確保する必要がある。比較的小規模の公園は、町会・自治会等へ管理の委託を推進しているが、今後も積極的にPRを実施し、さらに増加するよう努めていく。</p>
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01027	公園台帳作成費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	対象外	必需性	対象外
事業概要	<p>(事業内容) 都市公園法第17条により、都市公園台帳を作成し保管が義務づけられている。 また、都市公園法施行規則第10条により、都市公園台帳は、調書及び図面をもって組成する。</p> <p>(目標・計画) 新たに施設整備される都市公園及び都市緑地整備に対し台帳を作成する。</p>			
根拠法令等	都市公園法			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		893	299	252	0	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		1,693	1,099	1,052	800	
指 標	新規作成した台帳整備件数(件)	目標値	3.0	3.0	1.0	0.0
		実績値	3.0	3.0	2.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		藤崎台公園・金杉さくら・運動公園	習志野台8丁目3号公園・八木が谷北公園・芝山2丁目高芝公園	三山6丁目公園 薬円台6丁目公園	新たに施設整備される都市公園及び都市緑地が無いため	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	新たに整備を行った三山6丁目公園及び公有財産所管換えのあった薬円台6丁目公園の台帳を作成した。現在運用中の台帳システムでは、作成において特殊な技術的知識が必要であることから、効率化を図るため今後も委託にて実施する必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01028	公園協会委託費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 近隣公園程度の公園・緑地等(39箇所)を日常管理、植物管理等の一連の管理を委託することで、公園管理の合理化と効率化を図り、安全安心で快適な状態に保つために必要な維持管理を行う。</p> <p>(目標、計画) 比較的広い近隣公園程度の公園等を、常に安全安心に利用できるよう高水準の維持管理を行うことを目標に事業を実施する。目標達成には、市と受託者との密な連携を強化するとともに、施設の現状の状態を把握することが最も重要であることから、町会、自治会等幅広いところから施設の危険箇所等の情報を求め早急な対応を行う。</p>			
根拠法令等	都市公園法、都市公園法施行令、船橋市都市公園条例、船橋市都市公園条例規則			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		194,778	192,393	194,829	177,400	
人 工	常勤職員	1.3	1.3	1.2	1.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		10,400	10,400	9,600	8,800	
総コスト(A+B)		205,178	202,793	204,429	186,200	
指 標	管理箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	39.0	39.0
		実績値	39.0	39.0	39.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		・公園清掃、除草、便所 清掃、樹木の剪定、害 虫駆除、草花管理、等 の委託	・公園清掃、除草、便所 清掃、樹木の剪定、害 虫駆除、草花管理、等 の委託	・公園清掃、除草、便所 清掃、樹木の剪定、害 虫駆除、草花管理、等 の委託	・公園清掃、除草、便所 清掃、樹木の剪定、害 虫駆除、草花管理、等 の委託	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	現状維持
1次評価 コメント	近隣公園程度の公園については、不特定多数の方が多目的に利用される公園であり、利用者ニーズに応えた高水準管理が必要である。

【2次評価】

今後の事業の方向性	
2次評価 コメント	

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01029	公園施設管理費(政策経費)	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 公園・緑地等を安全、安心で快適な状態に保つために、必要な施設修繕を行う。</p> <p>(目標、計画) 管理する全ての公園等を、常に安全、安心に利用できるよう施設修繕を行うことを目標に事業を実施する。目標達成のためには、施設点検専門業者、及び職員等による公園施設の点検を強化するとともに、施設の現状の状態を把握することが最も重要であることから、清掃を委託している業者、町会・自治会等幅広いところから施設の危険箇所等の情報を求め、早急な対応を行う。 放射性物質除去土のう埋設業務委託の実施により地下保管された除去土壌の放射線量の測定を定期的に行う。</p>			
根拠法令等	都市公園法、都市公園法施行令、船橋市都市公園条例、船橋市都市公園条例規則			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		68,129	76,567	83,673	424,061	
人 工	常勤職員	0.5	0.5	0.6	2.7	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		4,000	4,000	4,800	21,600	
総コスト(A+B)		72,129	80,567	88,473	445,661	
指 標	管理箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	652.0	819.0
		実績値	622.0	640.0	652.0	—
	瑕疵による事故件数(件)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	1.0	1.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		・公園、緑地等の施設 修繕	・公園、緑地等の施設 修繕	・公園、緑地等の施設 修繕 ・放射性物質除去土の う埋設公園9公園	・公園、緑地等の施設 修繕 ・公園清掃、除草、便所 清掃、樹木の剪定、害 虫駆除、施設点検等の 委託	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	清掃を管理している団体等より情報を得て、早急に対応した。
--------------	------------------------------

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01030	児童遊園施設管理費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 児童遊園を安全、安心で快適な状態に保つために、日常管理、施設管理、植物管理等必要な維持管理を行う。</p> <p>(目標・計画) 児童遊園を、常に安全、安心に利用できるよう維持管理を行うことを目標に事業を実施する。目標達成のためには、施設点検専門業者、及び職員等による児童遊園施設の点検を強化するとともに、施設の現状の状態を把握することが最も重要であることから、清掃を委託している業者、町会・自治会等幅広いところから施設の危険箇所等の情報を求め、早急な対応を行う。</p>			
根拠法令等	児童遊園条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		30,834	35,654	39,479	0	
人 工	常勤職員	0.2	0.2	0.2	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		1,600	1,600	1,600	0	
総コスト(A+B)		32,434	37,254	41,079	0	
指 標	管理箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	169.0	0.0
		実績値	169.0	169.0	169.0	—
	町会等清掃委託件数(件)	目標値	0.0	0.0	200.0	0.0
		実績値	121.0	119.0	118.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		<ul style="list-style-type: none"> 児童遊園の清掃、除草、便所清掃、樹木の剪定、害虫駆除、施設点検等の委託 児童遊園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 土地借上料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 児童遊園の清掃、除草、便所清掃、樹木の剪定、害虫駆除、施設点検等の委託 児童遊園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 土地借上料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 児童遊園の清掃、除草、便所清掃、樹木の剪定、害虫駆除、施設点検等の委託 児童遊園等の維持管理に関する作業費 照明灯の電気料 土地借上料 等 	児童遊園事業は廃止され、公園事業となる。	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	休止・廃止
-----------	-------

1次評価 コメント	船橋市児童遊園条例が平成26年4月1日付けにて廃止されたことから、今後は、公園施設管理事業となる。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01031	児童遊園施設管理費(政策経費)	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 児童遊園を安全、安心で快適な状態に保つために、必要な施設修繕を行う。</p> <p>(目標、計画) 管理する全ての児童遊園を、常に安全、安心に利用できるよう施設修繕を行うことを目標に事業を実施する。目標達成のためには、施設点検専門業者、及び職員等による児童遊園施設の点検を強化するとともに、施設の現状の状態を把握することが最も重要であることから、清掃を委託している業者、町会・自治会等幅広いところから施設の危険箇所等の情報を求め、早急な対応を行う。</p>			
根拠法令等	児童遊園条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		13,170	16,417	16,381	0	
人	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	0	
総コスト(A+B)		13,970	17,217	17,181	0	
指 標	管理箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	169.0	0.0
		実績値	169.0	169.0	169.0	—
	瑕疵による事故件数(件)	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		児童遊園の施設修繕	児童遊園の施設修繕	児童遊園の施設修繕	児童遊園事業は廃止され、公園事業となる。	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	休止・廃止
1次評価 コメント	船橋市児童遊園条例が平成26年4月1日付けにて廃止されたことから、今後は、公園施設管理事業となる。

【2次評価】

今後の事業の方向性	
2次評価 コメント	

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01032	アンデルセン公園管理費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) アンデルセン公園を運営していくために必要なアンデルセン公園、駐車場用地を借地する。</p> <p>(目標、計画) アンデルセン公園を安定して運営していくためには現在借地している用地は必要不可欠となっていることから、地権者の意向をふまえ、今後買収していく。目標を達成するには、計画性をもって地権者に理解を求めていく。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		13,436	23,498	23,498	23,499	
人	常勤職員	0.1	0.2	0.2	0.2	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	1,600	1,600	1,600	
総コスト(A+B)		14,236	25,098	25,098	25,099	
指 標	借地面積(m ²)	目標値	0.0	0.0	78,784.5	78,784.5
		実績値	25,040.1	78,784.5	78,784.5	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		アンデルセン公園を運営していくために必要な土地借上料。	アンデルセン公園を運営していくために必要な土地借上料。	アンデルセン公園を運営していくために必要な土地借上料。	アンデルセン公園を運営していくために必要な土地借上料。	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	アンデルセン公園の一部として運営していく上で必要。
--------------	---------------------------

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01033	アンデルセン公園運営費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	指定管理者運営			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 有料公園であるアンデルセン公園は、質が高く、効率的で効果的なサービスを利用者に提供するため、平成18年4月より指定管理者制度を導入している。管理運営経費として利用料金制度を導入し、その他補充財源として指定管理委託料を計上し、魅力ある公園として管理運営している。</p> <p>(目標・計画) 特色のある5つのゾーンからなるアンデルセン公園は、今後も新たなゾーンの拡張整備が行われ、何度でも訪れたいと思われるような魅力ある公園づくりを目指し、年間入園者数60万人を目標に事業を実施する。目標達成には、良好な維持管理を行うとともに、事業効果をより一層高め、幅広い年代に受け入れられるイベント等を開催する。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		285,047	304,626	314,434	333,408	
人工	常勤職員	2.4	2.1	2.1	2.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		19,200	16,800	16,800	16,800	
総コスト(A+B)		304,247	321,426	331,234	350,208	
指標	入園者数(人)	目標値	0.0	0.0	550,000.0	575,000.0
		実績値	498,942.0	524,366.0	568,970.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理(清掃、樹木管理、施設点検等) ワンパク王国、メルヘンの丘運営事業 子ども美術館運営事業 イベント事業 	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理(清掃、樹木管理、施設点検等) ワンパク王国、メルヘンの丘運営事業 子ども美術館運営事業 イベント事業 	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理(清掃、樹木管理、施設点検等) ワンパク王国、メルヘンの丘運営事業 子ども美術館運営事業 イベント事業 	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び設備の維持管理(清掃、樹木管理、施設点検等) ワンパク王国、メルヘンの丘運営事業 子ども美術館運営事業 イベント事業 	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価コメント	<p>指定管理者と密に連絡を取り合い、良好な公園の運営管理を行っている。 平成25年度は、オーデンセ市姉妹都市提携25周年事業として「花と緑のフェア」を開催したこと、常に話題性のある事業を開催する等入園者の増加につながった。</p>
----------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01034	緑地管理費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	維持管理			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 街路樹、グリーンスポット等を安全、安心で快適な状態に保つために、必要な維持管理を行う。</p> <p>(目標・計画) 街路樹においては、都市空間に自然の潤いを与え、生活環境の向上を図る。また、グリーンスポット等は、常に安全、安心に利用できるよう維持管理を行うことを目標に事業を実施する。目標達成のためには、街路樹においては、将来樹形を考慮した管理を行い、グリーンスポット等は、施設の点検を強化するとともに、施設の現状の状態を把握することが最も重要であることから、清掃を委託している業者、町会・自治会等幅広いところから施設の危険箇所等の情報を求め、早急な対応を行う。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		154,989	140,534	146,850	17,497	
人 工	常勤職員	1.1	0.9	0.9	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		8,800	7,200	7,200	800	
総コスト(A+B)		163,789	147,734	154,050	18,297	
指 標	管理箇所数(箇所)	目標値	0.0	0.0	248.0	235.0
		実績値	240.0	244.0	248.0	—
	町会等清掃委託件数(件)	目標値	0.0	0.0	15.0	15.0
		実績値	12.0	14.0	11.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		<ul style="list-style-type: none"> 街路樹、グリーンスポット、京葉道路緑地帯、海老川長津川修景施設、長津川調節池等の清掃等の委託。 街路樹等の維持管理に関する作業費 施設修繕料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹、グリーンスポット、京葉道路緑地帯、海老川長津川修景施設、長津川調節池等の清掃等の委託。 街路樹等の維持管理に関する作業費 施設修繕料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹、グリーンスポット、京葉道路緑地帯、海老川長津川修景施設、長津川調節池等の清掃等の委託。 街路樹等の維持管理に関する作業費 施設修繕料 等 	<ul style="list-style-type: none"> 街路樹等の維持管理に関する作業費 施設修繕料 照明灯の電気料等 街路樹、グリーンスポット、京葉道路緑地帯、海老川長津川修景施設、長津川調節池等の清掃等の委託は政策経費へ計上 	

【1次評価】

妥当性	対象外
効率性	対象外
有効性	対象外

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	<p>管理水準を維持するよう財源を確保する必要がある。 グリーンスポットは、町会・自治会等へ管理の委託を推進しているが、今後も積極的にPRを実施し、さらに増加するよう努めていく。</p>
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

事業名	01035	公園緑地調査費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	計画策定・調査・企画・会議運営			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 公園緑地に関する各種計画を検討し策定する。 都市公園において、施設の老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の標準化を図る観点から、既存ストックの長寿命化対策を実施し計画的な改築・更新計画を策定する。</p> <p>(目標・計画) 公園施設長寿命化計画は、平成21・22年度に総合公園・近隣公園を実施し、23年度より3か年で街区公園の計画を策定。26年度は児童遊園より都市公園に移行した公園の内、102公園の計画を策定し長寿命化計画の策定を完了する。</p>			
根拠法令等				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		15,198	15,397	14,593	14,700	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.1	
人件費(B)		800	800	800	1,000	
総コスト(A+B)		15,998	16,197	15,393	15,700	
指 標	長寿命化計画策定箇所数(箇所)	目標値	80.0	80.0	80.0	102.0
		実績値	80.0	80.0	80.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		街区公園80箇所	街区公園80箇所	街区公園80箇所	街区公園102箇所	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	縮小
-----------	----

1次評価 コメント	平成21年度より策定済の「公園施設長寿命化計画」では、公園施設の維持管理において安全性の確保、機能保全の観点から計画が策定されているが、過去の予算執行状況と比べると乖離が著しく計画に則った履行が難しい状況であった。このことから、5年間分の計画内容について施設の絞り込みを行い予算の平準化と維持管理スケジュールの組み直しを図った。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01036	都市公園整備費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 船橋市総合計画後期基本計画より、市民一人当たりの都市公園面積3.40㎡/人(平成32年度)を目指し、都市の快適性や防災機能向上のため、身近な公園やレクリエーションの場となる公園を整備する。</p> <p>(目標・計画) (仮称)大穴近隣公園は、平成30年度末開設に向け、平成27年度実施設計を行い平成28年度より3か年で施設整備を行う。</p>			
根拠法令等	都市公園法、船橋市都市公園条例、船橋市緑の基本計画、※移動円滑化に関する基準を定める条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		5,999	66,787	18,656	15,700	
人	常勤職員	0.1	0.6	0.4	0.6	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	4,800	3,200	4,800	
総コスト(A+B)		6,799	71,587	21,856	20,500	
指 標	公園等の新設に向けた設計又は工事を実施した整備件数(件)	目標値	1.0	3.0	2.0	2.0
		実績値	1.0	2.0	2.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	—	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		三山6丁目2号公園(645㎡)	三山6丁目公園(2,914.7㎡) 芝山2丁目高芝公園(2,442.6㎡) (繰越)田喜野井7丁目公園(936.39㎡)	宮一公園(564.63㎡) (H24繰越)田喜野井7丁目公園(936.39㎡)宮本4丁目公園(繰越)	(仮称)大穴近隣公園基本計画・基本設計委託(13,900千円)	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価コメント	平成25年度に公有財産として購入した用地について、事業効果を図るため同年度にて施設整備を行った。未利用地の活用を行うため、公有財産所管換えを行った宮本4丁目用地の公園整備については、工事執行の遅れにより繰越事業となった。今後は整備要望の把握に努め早期に発注を行う必要がある。
----------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01037	都市公園用地購入費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 都市の快適性や防災機能向上のため、身近な公園やレクリエーションの場となる公園を確保し整備する。</p> <p>(目標・計画) 船橋市総合計画後期基本計画より、市民一人当たりの都市公園面積3.40㎡/人(平成32年度)を目指す。 新規公園及び借地している公園等を買収し、恒久的な都市公園とする。</p>			
根拠法令等	都市公園法 船橋市都市公園条例 船橋市緑の基本計画			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		3,755	448,359	111,062	259,057	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	2.5	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	20,000	
総コスト(A+B)		3,755	448,359	111,062	279,057	
指 標	事業箇所数(箇所)	目標値	1.0	2.0	2.0	1.0
		実績値	0.0	3.0	2.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		田喜野井公園(借地)の 用地購入予定だったが、 地権者が契約寸前に 亡くなったため購入で きず。	藤崎台公園(借地)三山 6丁目公園(都市計画 道路部分含)(新規) 田喜野井公園(借地)	宮一公園(新規) (仮称)大穴近隣公園 I 期(新規)	(仮称)大穴近隣公園 II 期(新規)7,150㎡ 210,000千円 丸山公園拡張用地(新 規)875㎡ 46,000千円	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	市民一人当たりの都市公園面積については、人口が増加したにもかかわらず前年度2.97㎡/人から2.99㎡/人 に上昇した。平成25年度は地権者の意向や事情により一部買収を断念したが、計画変更により事業を遂行でき た。今後は、(仮称)大穴近隣公園の用地買収、運動公園の駐車場拡張用地買収が控えており、事業の平準化か ら補助金の確保が困難と予想される。また、公園の不足区域や市民から新設公園要望のあった用地(区域)、及 び借地公園等の地権者からの相続等の買取要望について急遽対処しなければならない可能性もあることから、 事業遂行について検討する必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01039	都市緑地整備費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 船橋市総合計画後期基本計画より、市民一人当たりの都市公園面積3.40㎡/人(平成32年度)を目指し、都市の快適性や防災機能向上のため、良好な緑地を保全し、一部の緑地については開放型緑地として整備する。</p> <p>(目標・計画) 緑地等において老朽化した既存施設の改修を計画的に実施する。擁壁等の構造物の改修は、実施設計委託を行い次年度に工事実施することで安全を図る。</p>			
根拠法令等	都市緑地法、都市公園法、船橋市都市公園条例、船橋市緑の基本計画、※移動円滑化に関する基準を定める条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		3,774	29,851	7,789	121,400	
人	常勤職員	0.1	0.1	0.8	1.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	6,400	8,000	
総コスト(A+B)		4,574	30,651	14,189	129,400	
指 標	緑地等の施設の設計又は工事を実施した整備件数(件)	目標値	2.0	1.0	3.0	3.0
		実績値	2.0	1.0	3.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		海神5丁目2号緑地 夏見3丁目緑地	三咲5丁目緑地	(仮称)東船橋緑地委託 西船4丁目緑地委託 前原1号緑地擁壁委託	(仮称)東船橋緑地整備 (56,700千円) 西船4丁目緑地整備 (51,600千円) 前原1号緑地擁壁整備 (11,100千円)	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	(仮称)東船橋緑地実施設計業務委託は、市が開発から守るため、また、市民の憩いの場として残したいとして、平成7年に買収を行った緑地であり、平成17年度からは地域の方々と月に1度意見交換を実施し、25年度は整備内容について協議を重ね実施設計を行った。また、西船4丁目緑地の実施設計では、旧西図書館跡地を利用し、既に整備された緑地のバリアフリー化を図る実施設計を行った。 今後も、都市型の自然共生を図るため整備を継続していく必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01040	既設公園施設整備費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 高度経済成長期に施設整備された公園施設が大多数であり、設置から30年以上が経過し施設の老朽化が進んでいることから、改修においては条例を遵守したバリアフリー化や公園利用者による施設要望箇所の改修、公園施設長寿命化計画を基に計画的な維持管理を実施するとともに遊具の安全に関する規準を満たすよう改修を行う。</p> <p>(目標・計画) 近隣・地区公園の都市公園における園路及び広場、駐車場、便所のバリアフリー化を平成32年度までに、園路及び広場を91%、駐車場100%、便所88%まで向上させることを目標に事業を実施する。また、長寿命化計画を基に平成27年度より予算要求を実施する。</p>			
根拠法令等	都市緑地法、都市公園法、船橋市緑の基本計画・※船橋市都市公園に係る移動円滑化に関する基準を定める条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		34,930	109,512	153,179	220,270	
人 工	常勤職員	1.5	1.5	2.8	2.4	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		12,000	12,000	22,400	19,200	
総コスト(A+B)		46,930	121,512	175,579	239,470	
指 標	公園等の改修に向けた設計又は工 事を実施した(件)	目標値	6.0	12.0	16.0	11.0
		実績値	6.0	10.0	17.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		北習志野近隣公園(テニスコート)・宮本台公園浄化槽切替・高根木戸近隣公園(便所・施設)・小室公園施設改修・八木が谷北公園(便所)	北習志野近隣公園(便所・施設)・テニスコート)・芝山中央公園便所・前原北公園便所ほか(繰越)小室公園(便所・施設)	宮本台北公園再整備基本実施設計委託 北習志野近隣公園(便所・施設) 葉台公園(便所・施設) 高根木戸近隣公園(テニスコート改修)ほか(繰越)小室公園(便所・施設)	宮本台北(45,180千円)・御滝公園(便所・施設 25,400千円)・金杉台公園(便所7,380千円)・丸山公園(29,880千円)・夏見台近隣公園野球場改修(44,010千円)・旭町緑地遊歩道ほか	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	船橋市都市公園に係る移動円滑化に関する基準を定める条例に基づき、近隣公園2公園の園路及び広場、駐車場、便所のバリアフリー化を図った。現状値、園路及び広場を45%を64%、駐車場43%を71%、便所42%を58%まで向上させた。 今後も、公園利用者の多い近隣公園を優先的に整備する必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01041	運動公園整備費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 運動公園は、陸上競技場(2種公認)のほか野球場など様々な球技施設が充実し、市民の健康増進に資する施設となっている。しかし、整備後既に49年が経過し施設の老朽化、利用者のニーズの多様化などにより、魅力の低下を招いているため、公園利用者の安全性及び利便性を確保する施設改修を行う。建築物においては公共建築物保全計画に基づき施設改修を計画的に実施する。</p> <p>(目標・計画) 平成29年度夏オープン予定のプール事業にあわせ、周辺の環境整備を進める必要がある。 <施設概要>面積約18.3ha 昭和40年11月7日 陸上競技場・野球場・テニスコート 昭和46年7月1日プールオープン 昭和47年7月21日市民体育館開館</p>			
根拠法令等	都市緑地法、都市公園法、船橋市緑の基本計画※船橋市都市公園に係る移動円滑化に関する基準を定める条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		20,438	104,154	71,888	279,360	
人	常勤職員	0.2	0.2	0.4	0.8	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		1,600	1,600	3,200	6,400	
総コスト(A+B)		22,038	105,754	75,088	285,760	
指 標	公園等の施設の設計又は工事を実施した整備件数(件)	目標値	3.0	4.0	3.0	3.0
		実績値	3.0	5.0	4.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		体育館天井安全対策 体育館耐震補強設計及び判定委託 排水管入替	テニスコート改修・野球場ナイター照明塔受電設備改修・体育館耐震設計委託・プール改修基本設計委託・体育館内外部改修委託	駐車場整備基本設計委託・プール実施設計委託・体育館受変電設備更新・体育館高架水槽基礎補修	浄化槽設置工事(93,500千円) 陸上競技場2種公認更新工事(157,000千円) ディスクゴルフコース整備(27,360千円)	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価コメント	平成29年度夏オープン予定のプール事業計画の工程にあわせ、設計業務委託を実施した。また、公共建築物保全計画事業を実施し公園利用者の安全性及び利便性の確保を図った。今後は、プール事業計画について関係機関への周知や協議を進める必要がある。
----------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価コメント	
----------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01042	運動公園体育館耐震改修費(継続費分)	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-301-003	都市防災機能の向上	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 運動公園は、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点、また憩いの場として利用され、市民の健康増進に資する施設となっている。 船橋市地域防災計画において、屋外収容人員60,833人の広域避難所等に指定されており、運動公園体育館は拠点施設として重要な役割を担っている。しかし、昭和47年竣工の建築物であり現在の耐震基準に満たしていないことから、平成25年度より耐震改修工事を実施し2カ年目である。 (目標・計画) 平成26年度全国高等学校総合体育大会「煌めく青春南関東総体2014」の男子バスケットボール競技会場であることから、大会前に耐震改修工事を完了させる。</p>			
根拠法令等	都市緑地法、都市公園法、船橋市緑の基本計画 建築物の耐震改修の促進に関する法律 移動円滑化			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		0	0	147,650	129,000	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.6	0.6	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	4,800	4,800	
総コスト(A+B)		0	0	152,450	133,800	
指 標	施設改修に向けた設計又は工事を 実施した(件)	目標値	0.0	0.0	2.0	2.0
		実績値	0.0	0.0	2.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画				体育館耐震改修 工事監理委託	体育館耐震改修 工事監理委託	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	完了
-----------	----

1次評価 コメント	耐震改修工事では資材の確保等に期間を要し遅れが生じたことから繰越事業となった。今後は、精度を上げた工程及び進捗管理を行い工期内に完了させる必要がある。また、吊り天井部分においても耐震性を考慮した改修を実施している。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01043	既設児童遊園施設整備費		担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的	
事業概要	<p>(事業内容) 児童遊園は、児童厚生施設の一つで児童の健康増進や、情緒を豊かにすることを目的とし、児童に安全かつ健康な遊び場として整備されたが遊戯施設等が老朽化していることから、園利用者の安全を図るため改修を行う。</p> <p>(目標・計画) 児童福祉法に基づく管理が行われていないため、船橋市児童遊園条例を廃止し、都市公園等として管理していく。</p>				
根拠法令等	児童福祉法 船橋市児童遊園条例(廃止)				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		1,890	2,295	7,141	0	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.2	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	1,600	0	
総コスト(A+B)		2,690	3,095	8,741	0	
指 標	児童遊園等の改修に向けた設計又は工事を実施した整備件数(件)	目標値	1.0	3.0	3.0	0.0
		実績値	1.0	3.0	3.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		0.0	0.0	0.0	0.0	
		0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		大里西児童遊園	宮本坂下児童遊園・宮本坂上児童遊園・二和あやめ児童遊園	楠が山向陽台児童遊園・印内八坂児童遊園・浜町児童遊園		

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	概ね適正・十分
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	休止・廃止
-----------	-------

1次評価 コメント	児童遊園2施設については、バリアフリー化及び施設要望のあった遊戯施設等を設置し、地域住民に配慮した施設整備が行えた。京葉道路高架下にある湊町東児童遊園は利用者の安全が図れない等の意見が地元町会からあり施設整備には至らなかった。また、急遽借地していた児童遊園2施設の撤去要望に対し臨機に対応を行った。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01044	アンデルセン公園整備費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 市制施行50周年の記念事業として昭和62年11月にレクリエーション施設としてオープンしたワンパク王国を、平成元年に世界的な童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセンの生誕の地であるデンマークのオーデンセ市と姉妹都市を結び、「福祉と緑の都市宣言」の記念事業としてアンデルセン公園を平成8年11月にオープンした。アンデルセン公園は有料施設であることから、利用者の高い満足度が求められています。</p> <p>(目標・計画) 21世紀に相応しい総合公園としての施設の充実を図るため、公園施設長寿命化計画及び公共建築物保全計画をもとに計画的に施設改修を実施し魅力ある公園として施設整備する必要がある。</p>			
根拠法令等	都市緑地法、都市公園法、船橋市緑の基本計画、※船橋市都市公園に係る移動円滑化に関する基準を定める条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		42,228	75,331	235,846	73,590
人 工	常勤職員	1.2	1.0	1.0	1.2
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		9,600	8,000	8,000	9,600
総コスト(A+B)		51,828	83,331	243,846	83,190
指 標	公園施設の改修に向けた設計又は 工事を実施した整備件数(件)	目標値	8.0	3.0	5.0
		実績値	8.0	1.0	10.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		階段設置・自然体験 ゾーン植栽作業等景観 事業看板設置・北ゲート 改修実施計画・ワンパク 城改修設計委託子ども 美術館空調設備・じゅえ むタワー改修・ポートハ ウスパーゴラ改修・イベ ント広場改修	拡張エリア除草ほか 子ども美術館アトリエ陶 芸用電気釜入替・(繰 越)ワンパク城改修・北ゲ ート便所改修	拡張エリア除草ほか ワンパク城城門設計委託 南駐車場自動精算機改 修・ワンパク城城門改修 ・ワンパク城城門改修 ・修景整備・子ども美術 館パフォーマンスゾーン改修 フラワコンテナほか(繰越) ワンパク城改修・北ゲート	拡張エリア除草ほか 雨漏り調査委託 北駐車場自動精算機・ サービスセンター・便所・レスト ラーム空調設備・農家 屋根外壁改修・ほか 別紙

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	オーデンセ市姉妹都市提携25周年を記念し、“花と緑のフェア”の会場として相応しい施設とするため魅力ある整備を行ない、フェア期間中の目標来園者数10万人を超えるお客様を迎えることが出来た。 今後も、利用者からの高い好感度の満足度を維持するように施設整備を行う必要がある。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01045	アンデルセン公園整備費(拡張分)	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) アンデルセン公園は北部地域に残された貴重な緑を最大限に保全するとともに「福祉と緑の都市宣言」の記念事業として、アンデルセン公園の建設を行い、緑の拠点作りに努め、21世紀に相応しい総合公園として設備の充実を図る。</p> <p>(目標・計画) 平成31年度、都市計画決定区域(A=38.6ha)全域の供用開始に向け、アンデルセン公園の拡張整備を進める。都市計画事業として認可を受け、計画的に事業を進めており、事業区域の地権者等に事業協力をお願いし、用地の手当をしたうえで整備を実施していることから、事業目的を達成する必要がある。</p>			
根拠法令等	都市公園法、船橋市緑の基本計画、※船橋市都市公園に係る移動円滑化に関する基準を定める条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		257,394	63,702	195,593	237,700	
人	常勤職員	0.8	0.6	1.0	1.2	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		6,400	4,800	8,000	9,600	
総コスト(A+B)		263,794	68,502	203,593	247,300	
指 標	公園整備の委託、設計又は工事を 実施した整備件数(件)	目標値	4.0	1.0	2.0	4.0
		実績値	4.0	0.0	3.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		花の城ゾーン・四季の庭 レストハウス授乳室・空調設 備その他備品 自然体験ゾーン園路・造 成等	花の城ゾーン・連絡橋/便 所/浄化槽(緑越)	地域交流ゾーン・ドッグラン ほか 自然体験ゾーン駐車場整 備(砕石舗装) (H24緑越)花の城ゾーン・ 連絡橋/便所/浄化槽	地域交流ゾーン・ドッグラン 周辺施設整備委託 (120,000千円) ン拡張部駐車場整備 (14,700千円)西口レストハ ウス改築(48,700千円)・ 南駐車場拡張部整備 (54,300千円)	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	<p>年次計画により地域交流ゾーン、ドッグラン施設の整備を行った。また、前年度に整備された連絡橋を活用するため周辺整備を行い、自然体験ゾーンより回遊性を図った。 今後は、年次計画を確実に推進し早期に事業完了を図る必要がある。</p>
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01046	アンデルセン公園用地購入費		担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	選択的	
事業概要	<p>(事業内容) 北部地域に残された貴重な緑を最大限に保全するとともに「福祉と緑の都市宣言」の記念事業としてアンデルセン公園の建設を行い、緑の拠点作りに努め、21世紀に相応しい総合公園として整備の充実を図る。</p> <p>(目標・計画) 平成31年度、都市計画決定区域(A=38.6ha)全域の供用開始に向け、アンデルセン公園の拡張予定地の用地買収を行う。 また、アンデルセン公園区域内の借地用地部分について用地の買い取りを進める。</p>				
根拠法令等	都市計画法 都市公園法 緑の基本計画				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		54,482	53,527	41,905	117,727	
人 工	常勤職員	0.0	0.0	0.0	2.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	16,000	
総コスト(A+B)		54,482	53,527	41,905	133,727	
指 標	事業箇所数(箇所)	目標値	1.0	2.0	2.0	3.0
		実績値	1.0	2.0	2.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		拡張用地(神保町16-6 ほか)	拡張用地(神保町16-9 ほか) 拡張用地(神保町16-5 ほか)	拡張用地(神保町16-26) 拡張用地(神保町16-25)	駐車場予定地 (金堀町507-4) 4,882㎡ 駐車場予定地 (金堀町507-2) 806㎡ 駐車場予定地 (金堀町507-1) 1,105㎡ 113,400千円	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	市民一人当たりの都市公園面積については、人口が増加したにもかかわらず前年度2.97㎡/人から2.99㎡/人に上昇した。平成25年度については、計画どおり買収完了した。今後は、駐車場不足に対応するため、周辺の道路事情を把握し、駐車場の用地確保が必要である。また、長年地権者に事業協力をお願いしてきた借地箇所について用地の買い取りを進める。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

事業名	01047	街路樹整備費	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-001	公園緑地の整備	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 幹線道路等の植樹帯は、安全かつ快適な通行環境を確保するとともに良好な景観を形成するために重要な役割を果たしていることから、枯損木等の発生により空いている植樹帯へ補植し、良好な生活環境を確保する。</p> <p>(目標・計画) 今後とも、植樹帯の機能であるCO2の吸収や、ヒートアイランド現象の緩和作用等社会的に必要とされている機能を維持していく必要がある。</p>			
根拠法令等	道路法、船橋市緑の基本計画			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		2,478	3,724	4,239	0	
人 工	常勤職員	0.2	0.2	0.2	0.0	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		1,600	1,600	1,600	0	
総コスト(A+B)		4,078	5,324	5,839	0	
指 標	街路樹補植に向けた設計又は工事を 実施した件数(件)	目標値	1.0	1.0	1.0	0.0
		実績値	1.0	1.0	1.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		市道00-056号線ほか3 路線街路樹補植工事	市道00-039号線ほか 5路線街路樹補植工事	市道00-114号線ほか3 路線街路樹補植工事	平成26年度より政策経 費にて予算措置された ため	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	街路樹補植工事において計画の4路線の整備を行った。今後も植栽帯調査結果をもとに良好な景観を形成するため計画的に実施する必要がある。
--------------	---

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01049	街路樹整備費(政策経費)		担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-002	都市緑化の推進		会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備				
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的	
事業概要	<p>(事業内容) 幹線道路等の植樹帯は、安全かつ快適な通行環境を確保するとともに良好な景観を形成するために重要な役割を果たしていることから機能強化を図る。</p> <p>(目標・計画) 老木等の理由による既存街路樹の倒木が多発していたことから、平成19年度より17路線を対象として計画的に改植を進めていく。</p>				
根拠法令等	道路法・船橋市緑の基本計画				

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		5,002	13,181	16,625	38,560	
人 工	常勤職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		800	800	800	800	
総コスト(A+B)		5,802	13,981	17,425	39,360	
指 標	改植実施路線数(路線)	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0
		実績値	1.0	1.0	1.0	—
	街路樹整備に向けた設計又は工事を 実施した件数(件)	目標値	1.0	2.0	2.0	3.0
		実績値	1.0	2.0	2.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	—	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		市道00-019号線街路樹 改植工事	市道00-189号線街路樹 改植・市道00-033号線 ほか10路線街路樹補植 工事	市道00-014号線街路樹 改植・市道00-050号線 ほか7路線街路樹補植 工事	市道00-014号線街路樹 改植・市道00-016号線 ほか3街路樹補植・市道 00-061号線ほか6街路 樹補植工事	

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	現状維持
-----------	------

1次評価 コメント	17路線中7路線の改植工事が終了し、街路樹改植計画による市道00-014号線の改植工事に着手した。事業計画では2か年での整備を予定していたが、路線延長が長いことため整備期の延伸を余儀なくされた。今後は、目標年度32年度迄に17路線の整備完了に向け事業を推進する必要がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01050	緑地保全助成金	担当課	公園緑地課 作成責任者 三橋 亨
施策体系	002-102-004	樹林地等の保全対策の推進	会計種別	一般会計
事業類型	事業者・団体への助成・貸付			
公共性区分	共同消費性	個人消費的	必需性	選択的
事業概要	<p>(事業内容) 船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例第7条に基づき昭和48年から実施している都市における緑の保存施策であり、市内の健全な民有樹木等(樹林・樹木・生垣)を「指定樹木等」に指定し、それらを所有者に保全してもらい、保全に要する経費の一部として助成金を支給している。</p> <p>(目標・計画) 平成28年度までに指定樹林面積91ha、指定樹木数105本を目標に事業を実施していく。目標達成のため、広報・ホームページ等を活用し、市民への周知に努めると共に、樹木等所有者宅への訪問・事業内容の説明も行う。</p>			
根拠法令等	船橋市緑の保存と緑化の推進に関する条例			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)	
事業費(A)		20,832	20,615	20,739	21,688	
人	常勤職員	0.0	0.0	0.0	0.4	
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費(B)		0	0	0	3,200	
総コスト(A+B)		20,832	20,615	20,739	24,888	
指 標	指定樹林面積(ha)	目標値	91.0	91.0	91.0	90.5
		実績値	91.0	90.3	90.2	—
	指定樹木数(本)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	98.0	96.0	99.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
		目標値	0.0	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0	—
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		<ul style="list-style-type: none"> ・樹林 指定面積:90.97ha 助成額:20,035,932円 ・樹木 指定本数:98本 助成額:475,000円 ・生垣 指定延長:3,231.1m 助成額:320,860円 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林 指定面積:90.26ha 助成額:19,826,683円 ・樹木 指定本数:96本 助成額:467,500円 ・生垣 指定延長:3,231.1m 助成額:320,860円 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林 指定面積:90.25ha 助成額:19,942,573円 ・樹木 指定本数:99本 助成額:475,547円 ・生垣 指定延長:3,231.1m 助成額:320,860円 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林 指定面積:90.19ha ・樹木 指定本数:99本 ・生垣 指定延長:3,231.1m 	

【1次評価】

妥当性	概ね適正・十分
効率性	見直しの余地あり
有効性	概ね適正・十分

今後の事業の方向性	拡充
-----------	----

1次評価 コメント	平成28年度までに指定樹林面積91ha、指定樹木数105本に増やすことを目標に掲げているが、現状は指定樹林面積90.25ha、指定樹木数99本、指定生垣3,231mである。船橋市の緑は開発等により年々減少傾向にあるため、早期に新規指定樹木等を指定することで緑の保全の意識を高めていく必要性がある。
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--

平成26年度

事務事業評価票

事業名	01054	飯山満地区土地区画整理費	担当課	飯山満土地区画整理事務所 作成責任者 中村 亨
施策体系	005-401-002	良好な市街地の形成	会計種別	一般会計
事業類型	建設・整備			
公共性区分	共同消費性	共同消費的	必需性	必需的
事業概要	<p>(事業内容) 船橋都市計画事業飯山満地区土地区画整理事業は、東葉高速鉄道飯山満駅を中心とした区域について、道路、河川、公園等の公共施設整備と利用しやすい宅地を造成することで、環境の良い健全な市街地の形成を目的としている。</p> <p>(目標・計画) 本事業の事業計画に定められたとおり、道路など公共施設と宅地を整備することを目標としており、事業計画に規定する事業施行期間で完成する計画である。なお、本事業は事業が抱えている課題の解決を図り、早期の事業完了を目指して、現在見直し作業を実施している。</p> <p>(指標)「使用収益開始面積(ha)」の累計が平成27年度までに5.1haとなることを目標として事業を実施する。指標は「使用収益開始面積(ha)」としたが、これは事業計画に基づいて行った工事により完成した土地の面積であり、事業の進捗の度を適切に把握できるものである。</p>			
根拠法令等	都市計画法、土地区画整理法、船橋都市計画事業飯山満地区土地区画整理事業施行条例ほか			

(単位:千円)

年度		平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度 (決算)	平成26年度 (予算)
事業費(A)		264,647	228,929	300,102	211,341
人 工	常勤職員	14.3	13.3	13.3	13.3
	その他職員	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費(B)		114,400	106,400	106,400	106,400
総コスト(A+B)		379,047	335,329	406,502	317,741
指 標	各年度の使用収益開始面積(ha)	目標値	1.4	2.2	0.3
		実績値	1.0	0.3	0.4
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
		目標値	0.0	0.0	0.0
		実績値	0.0	0.0	0.0
	目標値	0.0	0.0	0.0	
	実績値	0.0	0.0	0.0	
事業内容 ※過年度は実績 現年度は計画		使用収益開始面積 指標 A=1.0ha 当年度 A=3.8ha 累計 街区造成・道路築造供給処理施設 移転・損失補償 事業見直し	使用収益開始面積 指標 A=0.3ha 当年度 A=4.1ha 累計 街区造成・道路築造供給処理施設 移転・損失補償 事業見直し	使用収益開始面積 指標 A=0.4ha 当年度 A=4.5ha 累計 街区造成・道路築造供給処理施設 移転・損失補償 事業見直し	使用収益開始面積 指標 A=0.3ha 当年度 A=4.8ha 累計 街区造成・道路築造供給処理施設 移転・損失補償 事業見直し

【1次評価】

妥当性	適正・十分
効率性	適正・十分
有効性	適正・十分

今後の事業の方向性	効率・改善化
-----------	--------

1次評価 コメント	<p>事業の進捗の度合で評価するものとし、事業計画に基づいて実施する工事により、完成した土地となった「各年度の使用収益開始面積(ha)」を指標として設定した。現在、事業計画の見直し作業を行っているが、当該作業に支障のない駅前交通広場の築造、飯山満川の改修工事、芝山東町会区域の建物移転などを行っているが、平成25年度累計は4.5haであり、ここまでは予定どおりに進捗したと考える。今後は、現在実施中の事業計画の見直し作業を出来るだけ速やかに終え、作成した新たな事業計画に基づいて、着実に事業を進めていく。</p>
--------------	--

【2次評価】

今後の事業の方向性	
-----------	--

2次評価 コメント	
--------------	--